

諸々の徳（ハディース集）②



ムハンマド・ブン・イブラーヒーム・

アッ＝トゥワイジュリー



翻訳者：サイード佐藤

校閲者：ファーティマ佐藤

編集：ムハンマド・サーリフ金子

كتاب الفضائل



محمد بن إبراهيم التويجري



ترجمة: سعيد ساتو

مراجعة: فاطمة ساتو

تحرير: محمد صالح كانيكو

目次



よき品格の徳.....	2
親交の徳.....	11
聖クルアーンの徳.....	18

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

本書はイスラームでの「よき品格－親交－聖クルアーン」における諸々の徳をハディース集という形で紹介しています。

よき品格の徳



よき人格の徳：

アブドッラー・ブン・アムル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は下品なことを口にするともなければ、卑俗な性質でもありませんでした。そしてこう言っていたものです：“あなた方の内で最良の者は、もっとも人格の優れた者である。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承¹）

知識の徳：

ムア－ウィヤ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私は預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞きました：“アッラーがよきものをお望みになられる者には、宗教における理解を与えられよう。そして私は分配する者であり、アッラーこそ

¹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（3559）、サヒーフ・ムスリム（2321）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

はお与えになられるお方である。またこのウンマ（共同体）の内の一部は審判の日が来るまで、アッラーの正しい道にあるだろう。彼らと意見を異にする者たちは、彼らを害することもないのだ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承²）

忍耐の徳：

アブー・サイド・アル＝フドゥリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「・・・そして（アッラーから）忍耐を授かることを求める者は、アッラーが忍耐を授けて下さるであろう。そして人が与えられるものの内、忍耐ほど良く、かつ活用範囲の広いものはない。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承³）

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：「強者とは、肉体的力（を備えた者のこと）を言うのではない。真の強者とは、怒りの状態にある時に自らを抑えることが出来る者のことを言うのである。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁴）

アナス（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私は預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞きました：“実にアッラーはこう仰った：「われがしもべを彼の愛する 2 つのもの（両眼のこと）で試練にかけ、そして彼がそれに忍耐するならば、われはその 2 つの償いとして天国を与えよう。”」（アル＝ブハーリーの伝承⁵）

² サヒーフ・アル＝ブハーリー（71）、サヒーフ・ムスリム（1037）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

³ サヒーフ・アル＝ブハーリー（1469）、サヒーフ・ムスリム（1053）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

⁴ サヒーフ・アル＝ブハーリー（6114）、サヒーフ・ムスリム（2609）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

⁵ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5253）。

誠実さの徳：

アブドッラー・ブン・マスウード（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“誠実であれ。誠実さは善へと導き、善は天国へと導くのだから。そして誠実であり続け、そこにおいて努力し続ける者は、ついにはアッラーの御許で誠実さを極めた者として記録されるであろう。また、嘘を避けよ。嘘は放埒さへと導き、放埒さは地獄へと導くのだから。そして嘘をつき続け、それに慣れきった者は、ついにはアッラーの御許で虚言極まる者として記録されるであろう。”」（ムスリムの伝承⁶）

アッラーに罪の赦しを乞うこと、悔悟することの徳：

アナス（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“あなた方が砂漠でラクダを失くした（絶望的な状況の）後にそれと再会することが出来た時（の喜び）よりも、アッラーはそのしもべの悔悟をお喜びになられる。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁷）

希望の徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“私の魂がその御手に委ねられているお方にかけて。もしあなた方が罪を犯さないのであれば、アッラーはあなた方の代わりに罪を犯し、そしてアッラーにその赦しを乞い、それを受け入れられるような民をおかれるだろう。”」（ムスリムの伝承⁸）

⁶ サヒーフ・ムスリム（2607）。

⁷ サヒーフ・アル＝ブハーリー（6309）、サヒーフ・ムスリム（2747）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

⁸ サヒーフ・ムスリム（2749）。

慈悲の徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「慈悲のない者は、慈悲をかけられることもない。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁹）

アッラーのご慈悲の偉大さの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：「アッラーは被造物を創造された時、その玉座のもとにあるアッ＝ラウフ・アル＝マハフーズ（護られた碑版）にこう定められた：「わが慈悲はわが怒りに優れり。」」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承¹⁰）

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：「実にアッラーには 100 のご慈悲がある。そしてその内の 1 つを、ジンと人間、動物や害虫などの間に下されたのだが、それによって彼らは同情し合い、慈しみ合い、野獣も自らの子をいたわるのだ。そしてアッラーは残りの 99 のご慈悲を、審判の日そのしもべたちをそれでもって慈しまれるべく、取って置かれるのである。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承¹¹）

⁹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5997）、サヒーフ・ムスリム（2318）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

¹⁰ サヒーフ・アル＝ブハーリー（3194）、サヒーフ・ムスリム（2751）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

¹¹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（6000）、サヒーフ・ムスリム（2752）。文章はムスリムのもの。

優しさと穏やかさの徳：

アーイシャ（彼女にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「アーイシャよ、アッラーはお優しいお方であり、ゆえに優しさを愛でられる。そして優しさに対して、荒々しさやその他の何ものに対しても与えられないものを与えられるのだ。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承¹²）

アーイシャ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“優しさというものは、それをもって行われる全てを美しく飾りつけずにはいない。そしてそれを欠いたものは全て、醜くならずにはいないのだ。”」（ムスリムの伝承¹³）

羞恥心の徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“イーマーンには 60 数個の部門がある。そして羞恥心はイーマーンの部門の内の 1 つなのだ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承¹⁴）

¹² サヒーフ・アル＝ブハーリー（6927）、サヒーフ・ムスリム（2593）。文章はムスリムのもの。

¹³ サヒーフ・ムスリム（2594）。

¹⁴ サヒーフ・アル＝ブハーリー（9）、サヒーフ・ムスリム（35）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

アブー・マスウード（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：
「預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“預言者たちの言葉で、人々に伝わるこのような言葉がある：“（あなたの成す事において）羞恥心を感じないのであれば、好きな事を行うのだ。”」（アル＝ブハーリーの伝承¹⁵）

よいこと以外には沈黙することと、口を慎むことの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：
「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“アッラーと最後の日を信じる者は、よいことを口にするか、さもなければ黙っていろ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承¹⁶）

アブー・ムーサー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：
「（教友たちは）言いました：“アッラーの使徒よ、イスラームにおける最良の者は、どのような者でしょうか？”（預言者は）言いました：“他のムスリムをその口と手でもって害さないような者だ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承¹⁷）

アッラーの命を遵守することの徳：

スフヤーン・ブン・アブドッラー・アッ＝サカフィー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私は言いました：“アッラーの使徒よ、イスラームにおいて、あなたの（死）後は誰にも聞くことの出

¹⁵ サヒーフ・アル＝ブハーリー（3484）。

¹⁶ サヒーフ・アル＝ブハーリー（6475）、サヒーフ・ムスリム（47）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

¹⁷ サヒーフ・アル＝ブハーリー（11）、サヒーフ・ムスリム（42）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

来ないような言葉を教えて下さい。”（アッラーの使徒）は言いました：“アッラーを信じます、と言って、その命を遵守するのだ。”」（ムスリムの伝承¹⁸）

敬虔さの徳：

アン＝ヌウマーン・ブン・バシール（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞きました：“合法的なものは明らかであり、非合法的なものも明らかである。そしてその間には、多くの者が知らない間際らしい物事がある。ゆえにそういった疑念の余地のある物事から身を慎む者は、自らの宗教と尊厳を守ることになろう。そしてそういった物事に陥る者は、禁じられた領域に足を踏み入れてしまうことになろう。それはまるで、禁じられた領域の周辺で（家畜が草を食む）番をする牧童のようであり、それらは今にもそこに入ってしまいそうである。実に全ての王には、（彼が定めた）禁じられた領域¹⁹がある。そして実にアッラーが禁じられた領域とは、かれの禁じられた物事である。そして実に体には、それさえ健全であれば体全体も健全であり、それが悪ければ体全体も悪くなるどころの 1 個の肉塊がある。そして実にそれは、心臓なのである。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承²⁰）

アッラーゆえに愛することの徳：

アナス（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「自らの欲するものをそ

¹⁸ サヒーフ・ムスリム（38）。

¹⁹ 訳者注：当時のアラブの王には、決められた土地を牧童たちにあてがい、彼が許可した以外の土地で放牧することを禁じ、それに違反した者を罰する習慣がありました。

²⁰ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5304）、サヒーフ・ムスリム（2983）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

の同胞にも欲するようにならなければ、本当に信仰したことにはならない。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承²¹）

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“審判の日、アッラーは仰る：「わが莊嚴さゆえに愛し合っていた者たちはどこだ？この日、われは彼らをわが蔭にかくまってやろう。わが蔭の他にいかなる影もないこの日に。」”」（ムスリムの伝承²²）

アッラーを畏れて泣くことの徳：

アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は教友たちから何かを聞くと、説教に立ってこう言いました：“私の眼前に天国と地獄が提示された。そして私は、この日ほどの善と悪はかつて見たこともなかったのだ。もしあなた方が私の知るものを知ったならば、余り笑わず、よく泣いたことであろう。”そしてアッラーの使徒の教友たちにとって、その日ほど厳しい日はありませんでした。彼らは（その日）頭を（布で）覆い、むせんでいたのです。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承²³）

良い言葉と、愛想の良さの徳：

アブー・ザッル（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は私に言いまし

²¹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（13）、サヒーフ・ムスリム（45）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

²² サヒーフ・ムスリム（2566）。

²³ サヒーフ・アル＝ブハーリー（4621）、サヒーフ・ムスリム（2359）。文章はムスリムのもの。

た：“善行を 1 つたりともなおざりにしてはならない。それが同胞に向けての微笑み 1 つであったとしても。”」（ムスリムの伝承²⁴）

よいことにおいて施すことの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「毎朝しもべには 2 人の天使が遣わされる。彼らの内の 1 人はこう言う：“アッラーよ、施す者には代償をお与え下さい。” そしてもう 1 人はこう言う：“アッラーよ、（施しを厭う）吝嗇者には損失をお与え下さい。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承²⁵）

試練に耐えることの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“罪のない姿でアッラーに見えるその時まで、信仰者の男女はその生命と子供、財産において試練に遭遇し続ける。”」（アッ＝ティルミズィーの伝承²⁶）

善行を多く行うことの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“今日サウム（齋戒、いわゆる断食）している者はいるか？”す

²⁴ サヒーフ・ムスリム (2626)。

²⁵ サヒーフ・アル＝ブハーリー (1442)、サヒーフ・ムスリム (1010)。文章はアル＝ブハーリーのもの。

²⁶ 良好な伝承。スナン・アッ＝ティルミズィー (2399)、サヒーフ・スナン・アッ＝ティルミズィー (1957)。アッ＝スィルスィラト・アッ＝サヒーハ (2280) 参照。

るとアブー・バクル（彼にアッラーのご満悦あれ）が“はい”と言いました。

（アッラーの使徒）は言いました：“今日葬儀に参列した者はいるか？”するとアブー・バクル（彼にアッラーのご満悦あれ）が“はい”と言いました。

（アッラーの使徒）は言いました：“今日恵まれない者に食を与えた者はいるか？”するとアブー・バクル（彼にアッラーのご満悦あれ）が“はい”と言いました。

（アッラーの使徒）は言いました：“今日病人を見舞った者はいるか？”するとアブー・バクル（彼にアッラーのご満悦あれ）が“はい”と言いました。

すると（アッラーの使徒）は言いました：“これらのものを全て行った者は、天国に入るであろう。”」（ムスリムの伝承²⁷）

ウスマーン・ブン・アッファーン（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞きました：“アッラーゆえにモスクを1つ建設する者には、アッラーがそれと同様のものを天国に建てて下さるであろう。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承²⁸）

親交の徳



両親と良い関係を保つことの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「ある男が預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）のもとにやって来て、言いました：“アッラーの使徒よ、私が最も良い関係を保

²⁷ サヒーフ・ムスリム（1028）。

²⁸ サヒーフ・アル＝ブハーリー（450）、サヒーフ・ムスリム（533）。文章はムスリムのもの。

つべき人は誰でしょうか？”（預言者は）言いました：“母親だ。”（男は）言いました：“その次は？”（預言者は）言いました：“母親だ。”（男は）言いました：“その次は？”（預言者は）言いました：“母親だ。”（男は）言いました：“その次は？”（預言者は）言いました：“それから父親だ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承²⁹）

近親との良い関係の徳：

アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「その糧が増加し、いつまでも誉れ高くありたいと思う者は、良い近親関係を保つのだ。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承³⁰）

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：「親類関係（Ar=Rahim）とは、慈悲深いお方（Ar=Rahman）（の御名）から派生しているのだ。ゆえにアッラーは仰られる：“親族関係をよく保つ者には、われが彼とわれ（の絆）をよく保ってやろう。そしてそれを断つ者には、われが彼とわれ（の絆）を断ってやろう。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承³¹）

アブドッラー・ブン・アムル（彼らにアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「（真に）近親との良い関係を保つ者というのは、自分がされたことに対して報いる者のことを言うのではない。その関係が途絶えた時に、

²⁹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5971）、サヒーフ・ムスリム（2548）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

³⁰ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5986）、サヒーフ・ムスリム（2557）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

³¹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5988）、サヒーフ・ムスリム（2554）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

それをつなぎとめるような者のことを言うのだ。」（アル＝ブハーリー
一の伝承³²）

子供との良い関係を築き、また彼らに良い教育を施すことの徳：

1ーアーイシャ（彼女にアッラーのご満悦あれ）は言いました：
「娘 2 人を連れた 1 人の女性が私のもとにやって来て、私に（施しもの）
を）請いました。私の手元にはナツメヤシ 1 粒しかなかったのでそれを
渡しましたが、彼女はそれを半分に割って 2 人の娘に分け与えました。
そして立ち上がると、去って行きました。すると預言者（彼にアッラー
からの平安と祝福あれ）が帰って来たので、私は彼にこの話をしました。
すると彼は言いました：“それら娘たちの面倒を見、善行を施す者は、
彼女たちによって地獄から守られよう。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承³³）

ウサーマ・ブン・ザイド（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：
「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は私を抱いて、
その足の上に座らせたものです。そしてもう片方の足の上にはアル＝ハサン
を座らせ、私たち 2 人を抱きかかえてこう言ったものです：“アッラーよ、
この 2 人にご慈悲をおかけ下さい。私は彼らを慈しんでいるのですから。”」（
アル＝ブハーリーの伝承³⁴）

孤児の面倒を見る者の徳：

サハル（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒
（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“私と孤児の後見人
は、天国でこのよう（な関係）である。”そして人差し

³² サヒーフ・アル＝ブハーリー（5991）。

³³ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5995）、サヒーフ・ムスリム（2629）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

³⁴ サヒーフ・アル＝ブハーリー（6003）。

指と中指でもって示しましたが、その間には僅かな間隔がありました。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承³⁵）

両親の友人と良い関係を保つことの徳：

イブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞きました：“善行の内でも最たるものは、亡くなった父親の友人たちと良い関係を保つことである。”」（ムスリムの伝承³⁶）

やもめや恵まれない境遇にある者に進んで手を差し伸べることの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“やもめや恵まれない境遇にある者に進んで手を差し伸べる者は、アッラーの道において奮闘する者、あるいは夜をサラー（礼拝）に費やし昼間はサウム（齋戒、いわゆる断食）する者のようである。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承³⁷）

娘たちの教育の徳：

アナス・ブン・マーリク（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“2人の女兒を成熟するまで面倒を見る者は、審判の日に私と共に（こうして）やって来るであろう。”（そう言って預言者は両手の）指を組み合わせました。」（ムスリムの伝承³⁸）

³⁵ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5304）、サヒーフ・ムスリム（2983）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

³⁶ サヒーフ・ムスリム（2552）。

³⁷ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5353）、サヒーフ・ムスリム（2982）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

³⁸ サヒーフ・ムスリム（2631）。

隣人と良い関係を築くことの徳：

アーイシャ（彼女にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「もしかすると遺産相続までさせるのでは、と私が訝（いぶか）るほどに、ジブリール（ガブリエル）は私に隣人への善行を命じ続けました。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承³⁹）

アブー・シュライフ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「“アッラーにかけて、（そのような者は）信仰していない。アッラーにかけて、（そのような者は）信仰していない。アッラーにかけて、（そのような者は）信仰していない。”（教友たちは）言いました：“一体誰のことですか、アッラーの使徒よ。”（預言者は）言いました：“その隣人が、その害悪ゆえに安心出来ないような者のことだ。”」（アル＝ブハーリーの伝承⁴⁰）

アナス（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「“自らに欲することを同士にも欲するようにならなければ、本当に信仰したことにはならない。”あるいはこう言いました：“自らに欲することを隣人にも欲するようにならなければ・・・”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁴¹）

人を慈しむことの徳：

ジャリール・ブン・アブドッラー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）

³⁹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（6014）、サヒーフ・ムスリム（2624）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

⁴⁰ サヒーフ・アル＝ブハーリー（6016）。

⁴¹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（13）、サヒーフ・ムスリム（45）。文章はムスリムのもの。

は言いました：“人を慈しまない者には、アッラーもそのご慈悲をかけては下さらないであろう。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁴²）

女性や小間使いたちと品徳をもった接し方をする事の徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“女性に関する忠告を聴くのだ：女性は肋骨から創られたのであり、肋骨の中でも最も湾曲が激しいのは最上部のそれである。それであなた方がそれを真っ直ぐにしようとすれば、それは折れてしまうことであろう。だからと言ってそれを放っておけば、それは湾曲したままである。ゆえに女性に関する忠告を聴くのだ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁴³）

よき統治とよき親交の徳：

アブドッラー・ブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞きました：“あなた方は皆指導者である。そしてあなた方は皆、その指導下にある者たちに対して責任がある。（組織や集団の）長はその民に対して責任があり、また男は家庭の中における指導者であり、家族に対して責任を持つ。また女性は夫の家における管理者であり、彼女の管理下にある者たちに対して責任を持つ。そして小間使いは主人の財の管理者であり、彼もまたその管理下にあるものに対して責任を持つのだ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁴⁴）

⁴² サヒーフ・アル＝ブハーリー（7376）、サヒーフ・ムスリム（2319）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

⁴³ サヒーフ・アル＝ブハーリー（3331）、サヒーフ・ムスリム（1468）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

⁴⁴ サヒーフ・アル＝ブハーリー（893）、サヒーフ・ムスリム（1829）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

マアキル・ブン・ヤサール（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞きました：“アッラーからその面倒を任された者たちに対して不正を働き、その（状態の）まま死んだしもべには、アッラーが天国を禁じられるであろう。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁴⁵）

ムスリムと良い関係を築き、彼らの用事を手伝い、その苦悩を和らげ、その過ちを秘密にしておいてやることの徳：

アブドッラー・ブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）はこう言いました：「ムスリム同士は兄弟であり、互いに不正を働き合ったり、見捨てたりしない。そして同胞の必用事に携わる者は、アッラーが彼の必要事に携わられるであろう。またムスリムの苦悩を 1 つ和らげてやる者は、アッラーが審判の日の彼の苦悩を 1 つ和らげて下さるであろう。そして（現世で）ムスリム（の過ち）をかくまってやる者は、アッラーが審判の日に彼のことをかくまって下さるであろう。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁴⁶）

アブー・サイード・アル＝フドゥリー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私たちが預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）と共に旅路にある時、ラクダに乗った 1 人の男がやって来ました。そして（男は物欲しそうに）左右を眺め回しました。そこでアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“（乗るための）ラクダを余計に持っている者は、持っていない者に与えてやるのだ。そして蓄えに余裕がある者は、ない者に与えてやるのだ。

⁴⁵ サヒーフ・アル＝ブハーリー（7150）、サヒーフ・ムスリム（142）。文章はムスリムのもの。

⁴⁶ サヒーフ・アル＝ブハーリー（2442）、サヒーフ・ムスリム（2580）。文章はムスリムのもの。

こうして（アッラーの使徒は）様々な財の名を（同じようにして）挙げ続けたので、私たちはまるで自分たちが所有する剰余物において、他人に対するいかなる権利も有していないかのように感じたものです。”」（ムスリムの伝承⁴⁷）

聖クルアーンの徳



クルアーンを学び、教える者の徳：

ウスマーン（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「あなた方の内最善の者は、クルアーンを学び、教える者である。」（アル＝ブハーリーの伝承⁴⁸）

クルアーンの読誦に熟達した者の徳：

アーイシャ（彼女にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：「クルアーンの読誦に熟達した者は、この上なく従順で高貴な記録者たち（天使たちのこと）と共にある。一方クルアーンをやっとの思いで躓きながら読む者には、2つの報奨がある。」」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁴⁹）

⁴⁷ サヒーフ・ムスリム（1728）。

⁴⁸ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5027）。

⁴⁹ サヒーフ・アル＝ブハーリー（4937）、サヒーフ・ムスリム（798）。文章はムスリムのもの。

集まってクルアーンを読むことの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：「 - 中略 - ・ ・ ・そして人々がモスクに集まってアッラーの書（クルアーンのこと）を読み、それを学び合えば、彼らの間には静寂が訪れ、慈悲に包まれ、またアッラーが天使たちのもとの彼らを褒め称えられないことはない。そして行いにおいて劣る者は、血統によってそれを償うことが出来ないのである。」」（ムスリムの伝承⁵⁰）

クルアーンと常に共にある者の徳：

アブー・ムーサー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「常にクルアーンと共にあれ。私の魂がその御手に委ねられているお方にかけて。それは縛り綱につながれたラクダよりも素早く逃げ去ってしまうものなのだから。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁵¹）

クルアーンをサラー（礼拝）で読む者の徳：

アブドッラー・ブン・ウマル（彼らにアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「（これら）2人の者以外に羨望すべき者たちはいない：アッラーがクルアーンを（その記憶と学識において）与えられた者で、それを昼夜通してサラー（礼拝）の中で読む者と、アッラーが財を与えら

⁵⁰ サヒーフ・ムスリム (2699)。

⁵¹ サヒーフ・アル＝ブハーリー (5033)、サヒーフ・ムスリム (791)。文章はアル＝ブハーリーのもの。

れた者で、それを昼夜通して施す者である。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁵²）

クルアーンを美しく朗誦することの徳：

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「アッラーは、預言者がクルアーンを美しく朗誦するのをお聞きになられるほど、何かをお聞きになられることはない。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁵³）

アル＝ファーティハ（開端）章の徳：

アブー・サイド・ブン・アル＝ムアッラー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「・・・私は言いました：“アッラーの使徒よ、あなたは「クルアーンの中で最も偉大な章をあなたに教えてやろうか？」と言われました。”（預言者は）言いました：“（それは）何度も繰り返し読まれる 7 節であり、私が授かり受けた偉大なクルアーンであるところの「万有の主アッラーにこそ全ての賞賛はあり」（つまりアル＝ファーティハ章）である。”」（アル＝ブハーリーの伝承⁵⁴）

アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）の遺言：

タルハ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私がアブドッラー・ブン・アビー・アウファーに“（預言者は）遺言をしましたか？”と尋ねると、（彼は）言いました：“いや。”私は言いまし

⁵² サヒーフ・アル＝ブハーリー（5025）、サヒーフ・ムスリム（815）。文章はムスリムのもの。

⁵³ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5024）、サヒーフ・ムスリム（792）。文章はムスリムのもの。

⁵⁴ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5006）。

た：“それではなぜ人々に遺言が課せられ、そうすることが命じられたのですか？彼（自身）はそうしなかったというのに。”すると（タルハは）言いました：“（預言者は）アッラーの書（クルアーン）をもって遺言されたのだ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承⁵⁵）

クルアーン読誦の徳：

アブー・ウマーマ・アル＝バーヒリー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「私はアッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）がこう言うのを聞きました：“クルアーンを読むのだ。それは審判の日、クルアーンの徒のとりなしとなるであろう。光の 2 章、つまり雌牛章とイムラーン家章を読むのだ。それらは審判の日、その者を護るため、2 つの雲、あるいは 2 つの影、あるいは翼を広げて羽ばたく鳥の 2 集団のようにしてやって来よう。雌牛章を読むのだ。それと共にあることは祝福であり、それを放棄することは後悔であり、魔術師はそれに太刀打ち出来ないのだから。”」（ムスリムの伝承⁵⁶）

アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“家族のもとに帰った時、子を孕んで大きく肥えた 3 頭の雌ラクダを見つけたら嬉しくはないか？”私たちは言いました：“はい。”すると（預言者は）言いました：“サラー（礼拝）の中で読むクルアーンの 3 節の方が、子を孕んで大きく肥えた雌ラクダよりも優れているのだ。”」（ムスリムの伝承⁵⁷）

アブドッラー・ブン・アムル（彼らにアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）

⁵⁵ サヒーフ・アル＝ブハーリー（5022）、サヒーフ・ムスリム（1634）。文章はアル＝ブハーリーのもの。

⁵⁶ サヒーフ・ムスリム（804）。

⁵⁷ サヒーフ・ムスリム（802）。

は言いました：“クルアーンに従事する者は（審判の日）、こう言われる：「（クルアーンを）読み、（それでもって）高き（位階）に到達し、現世でそうしていたようにゆっくりと朗誦するのだ。（この日）あなたの居場所は、あなたが最後に読んだ（クルアーンの）節（の数次第）で決まるのである。」”」（アッ=ティルミズィーとアブー・ダーウードの伝承⁵⁸）

—追記—

❖ 本書に関連して、更に詳細をご希望の方は、ウェブサイト：

イスラームハウス（日本語）ページをご参照下さい。

リンク先：<https://islamhouse.com/ja/main>

⁵⁸ 良好かつ真正な伝承。スナン・アッ=ティルミズィー（2914）、サヒーフ・スナン・アッ=ティルミズィー（2379）、スナン・アブー・ダーウード（1464）、サヒーフ・スナン・アブー・ダーウード（1300）文章はアブー・ダーウードのもの。

前書『イバーダートの徳』に続き、本書では、イスラームにおける『よき品格』『親交』『聖クルアーン』に関連する内容を、ムハンマド・イブラーヒーム・アッ＝トゥワイジュリー著「イスラーム概論」の中から抜粋して紹介しています。項目ごとにハディースを選び、分かりやすくまとめました。本ウェブサイトと併せてご参照ください。

サウジアラビア王国・リヤド・－IslamHouse－